

# 2019年度親和自治会第三回映画サロン

南街・桜が丘地域防災協議会本部  
2019年08月18日

2019年度親和自治会の第三回映画サロンが向原市民センターで開催されました。今回は1969年8月に公開された、「男はつらいよ」の第1作目です。テレビドラマが好評だったにも関わらず、寅次郎が亡くなるという結末に抗議が殺到し、映画化につながりました。以来1995年12月の第48作(第49作が、渥美清さん没後にリメイク版として制作されています。)まで続きます。(P7にプチ情報)

映画の内容の説明は「シネマクラブ HIBARI」代表の秩父様にして戴きました。

秩父様



親和自治会  
木下様



★寅が柴又に帰ってきた。



## 矢切りの渡し

産湯をつかった江戸川の渡し船で、寅が帰ってきた。  
(「野菊の墓」の舞台となった矢切と、柴又を結んでいます。)



## 御前様と再会

柴又帝釈天のご住職(笠智衆)と、帝釈天の祭りで再会。

★「とらや」(草だんごや)で家族と再会



叔父・叔母と再会

おいちゃん(森川信、2代目は松村達雄、3代目は下條正巳)、おばちゃん(三崎千恵子)に帰郷の挨拶。  
(「りっぱになって」)



さくらと再会

帰宅したさくら(賠償千恵子)が、不審な男にげんなり顔をする。

「おにいちゃんなの」



★さくらのお見合いをぶちこわす。



お見合いの付添い人

さくらの実の兄として、お見合いに参加。  
肉が切れません。

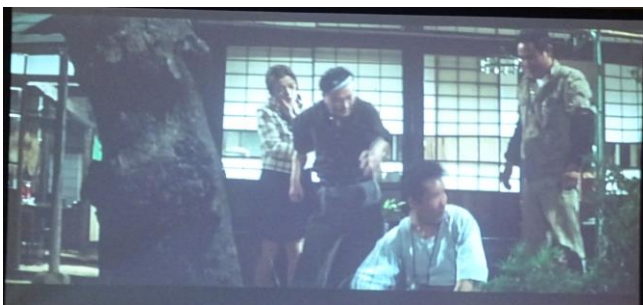


お酒が入り、絶好調に

「結構毛だらけ、ねこ灰だらけ、  
けつのまわりは〇〇だらけ」

「屁という字は・・・」

★お前のおかげでさくらは縁談を断られたんだぞ。



おいちゃんの詰問

博さんの仲裁

隣の印刷工場の職工 博さん  
(前田吟)が仲裁にはいります。



騒ぎはおさまりました

ひとしきりのケンカの後、仲直り。  
賠償千恵子が、本気で笑いを  
こらえています。

★旅先(奈良)で御前様親子と遭遇



「御前様、おじゃまをしました。」

「ばか、娘だ」



第1作目マドンナ

御前様の娘(光本幸代)

「寅ちゃん、お久しぶり」

(以後合計35人のマドンナが登場します。

複数回の登場は、浅岡ルリ子4回、

竹下恵子3回、吉永小百合2回など。

後藤久美子5回は、さくらの息子「満男」の  
マドンナとしてです。)



「俺がガキの頃いじ  
めていたあの・・・」



## ★博さんの想い



**おだんごください**

さくらも何かうれしそうです。  
「お店の中を歩いて帰れば。」



**博が寅と対峙**

「大学出でないと、いけないのですか。」

「そうよ。さくらの結婚相手は、大学出の  
大きな会社のサラリーマンよ。」



**本当に好きになったことがあるのか。**

「兄さんは女の人を、心から好きに  
なったことがあるんですか。」



**さくらにほれたのか**

「お前さしずめ、さくらに惚れたな。」  
「よし、俺がさくらの気持ちを聞いて  
やる。」

★寅のいいかげんさが、二人を結びつける。



あきらめろ

寅のいいかげんな発言。

「さくらはお前にその気はないぞ。」



ここ(印刷工場)をやめていきます

「3年間、寮の窓からあなたが垣間見えるのが生きがいでした。幸せになって下さい。」



「お兄ちゃん、博さんに何を言ったの。」



柴又の駅で

「博さん、まって。」



## ★さくらと博の結婚式



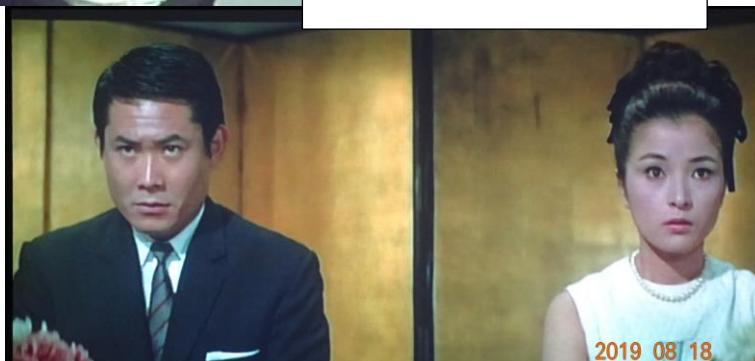
### 集合写真

この画面の後、有名なセリフ「バター」が。



### 博の父のスピーチ

諷訪颯一郎(元北海大学名誉教授、志村喬)は、博に親らしいことをしてやれなかったことを静かにわびます。(博さんは家出し、8年間両親とは音信不通でした。)



## ★結婚式から1年後



### 長男誕生

さくらの長男満男が御前様にお目見え。  
満男はシリーズとともに成長していきます。  
(第27作～第48作は、吉岡秀隆)

## ★新たな旅立ち



寅は舎弟(川又登)とともに、  
新たな放浪の旅へ。



## ★ご参考

1. 「男はつらいよ」は世界最長の映画シリーズ(作品数)として、ギネスブックに認定。
2. 山田洋次監督は、5作品程度で終了するつもりだったが、あまりの人気に49作品(渥美清が亡くなるまで)続けた。
3. 2019年12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」を公開予定。  
どんな形でもいいので、リリーさん(浅岡ルリ子)と結婚させてほしいと思うファンが多いと思うが、さくらのむすこ満男(吉岡秀隆、第1作から50年目で、50歳になる。)と、想いを寄せてきた泉(後藤久美子)のその後の物語になるのでは。

## 親和映画サロン

# 『男はつらいよ(第1作)』



**8月18日(日)14:00～ お茶代 200円**

**於:向原市民センター 第3集会室**

山田洋次監督 1969年作品 日 上映時間(91分)

出演:渥美清、倍賞千恵子、光本幸子、前田吟、志村喬、笠智衆

26年にわたる下町人情大河喜劇映画シリーズの記念すべき第1作。当初はテレビドラマ版最終回の抗議を受けての映画化のため、本作で完結ととれるラストになっている。

寅さんが20年ぶりに、故郷柴又に帰ってくる。

歓迎ムードも束の間、寅は妹さくらの縁談をぶちこわし、また旅の人となる。奈良で旅行中の御前様とその娘・坪内冬子と再会。幼なじみゆえ、気さくな冬子に恋をした寅さんは、帰郷してからも冬子のもとへ日参する。

一方裏の印刷工場につとめる諏訪博は、さくらへ想いを寄せていた……

**お問合せ:親和自治会7組 木下 清(090-2656-2343)**

以上